

NEWS RELEASE

電子管光源の生産能力増強
生産子会社光素の新棟が完成
竣工式は8月8日

2022年8月4日
浜松ホトニクス株式会社
本社：浜松市中区砂山町 325-6
代表取締役社長：晝馬 明(ひるま あきら)

当社の電子管光源の生産子会社である株式会社光素（磐田市掛下）は、生産能力を増強するため第2棟を建設していましたが、このたび完成し、2023年4月より稼働を開始します。

新棟建設の竣工式は8月8日（月）に執り行います。



当社は1987年、電子管事業における光源の売り上げ拡大に対応するため、生産子会社として光素を設立しました。2010年には現在の工場を新設し、分散していた生産機能を集約し供給体制をさらに強化することで、市場の拡大に対応してきました。現在光素では、当社が販売する重水素ランプやキセノンフラッシュランプ、キセノンランプなどの電子管光源の9割以上と、高感度な紫外線センサーであるUVトロンを生産しています。

近年、先進国のみならず新興国においても食の安全や健康への意識が高まっていることから、食品や薬品の成分分析装置に使われる重水素ランプの需要が拡大しています。また、中国を中心に市場が拡大している環境分析装置向けのキセノンフラッシュランプや半導体の検査装置向けキセノンランプ、火災警報器向けのUVトロンなどの売り上げも増加しています。このため、新棟を建設し生産能力を年間売上高換算で約2倍まで増強することで、今後の需要拡大に対応します。

新棟建設により、生産スペースの拡張に合わせ工場全体の生産工程の最適化を図るとともに、生産体制の強化に向け人員を増強していきます。また、今後開発が見込まれる新製品の生産に対応するためのスペースを確保しています。

竣工式および新棟の概要につきましては以下の通りです。

<竣工式>

式典名称 株式会社光素 第2棟 竣工式
日 時 2022年8月8日（月） 午前10時30分～
場 所 静岡県磐田市掛下677番地1

<新棟概要>

建物名称	光素 第2棟
建築場所	静岡県磐田市掛下677番地1
建築工期	2021年8月着工、2022年8月竣工
稼働予定	2023年4月
建築構造	鉄骨造 地上4階
建物面積	建築面積 2,474.88㎡、延床面積 9,324.14㎡
施設構成	1階 各種光源製造エリア 2階 キセノンフラッシュランプ、キセノンランプのアセンブリ・検査エリア 3階 重水素ランプのアセンブリ・検査エリア 4階 食堂、健康増進室、光源応用製品・新製品製造エリア
総工費	約37億円
収容人員	約100名
生産品目	重水素ランプ、キセノンフラッシュランプ、キセノンランプなど各種電子管光源および光半導体素子応用光源製品
生産能力	約10億円（年間売上高換算）

<株式会社光素概要>

本社所在地	静岡県磐田市掛下 677 番地 1
代表取締役社長	松下 孝二（浜松ホトニクス株式会社 顧問）
設立	1987年11月18日
資本金	8,500万円（浜松ホトニクス株式会社 全額出資）
事業内容	電子管光源、光電変換素子、電子機器の製造



株式会社光素第2棟 外観

<この件に関するお問い合わせ先>

■報道関係の方 浜松ホトニクス株式会社 広報室 野末迪隆
〒430-8587 浜松市中区砂山町 325-6 日本生命浜松駅前ビル
TEL053-452-2141 FAX053-456-7888 E-mail:nozue-m@hq.hpj.co.jp
時間外は、携帯電話 080-8262-0374 へお願いします